



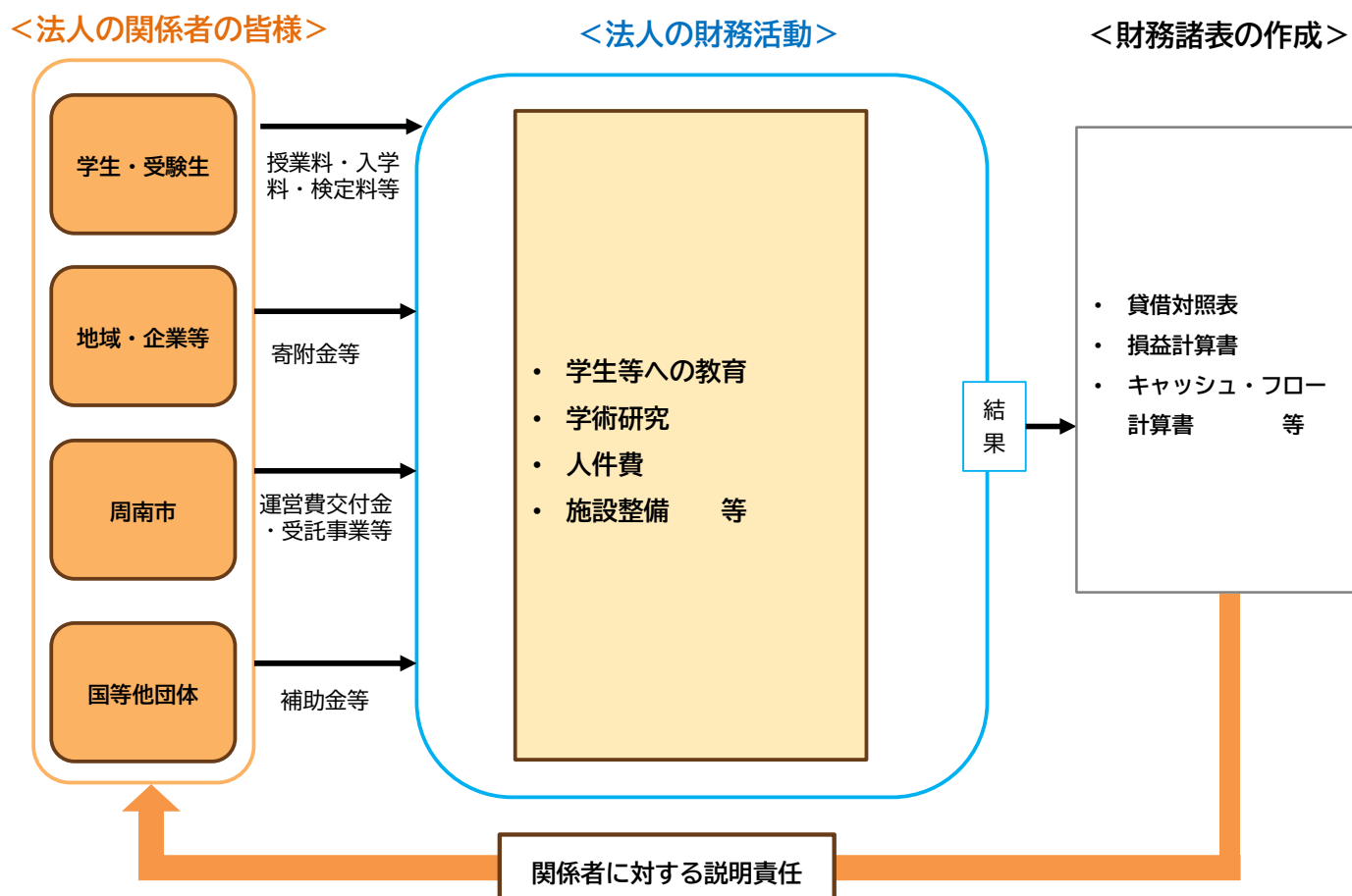
公立大学法人周南公立大学

財務レポート

2024

はじめに

周南公立大学は、本学の関係者の皆様に対して、法人の財務状況、運営状況を分かりやすくお伝えすることを目的として財務レポートを作成いたしました。



I. 2024年度主要トピックス

公立化して3年目にあたる2024年度は、大学改革の重要な柱として位置付けてきた新学部・学科が開設し、3学部5学科、学生定員1,920名の総合大学となり、地域課題の解決に資する地域貢献大学としての基盤が整いました。

1. 教育の充実に向けた取組

- LMS（学習管理システム）を導入し、汎用ルーブリックを用いた形式的評価による教育の可視化を推進しました。また、EQ教育やPROGテストを体系的に活用することにより、学生のEQ力やジェネリックスキルを測定・育成する仕組みが整い、個別の成長支援が明確になりました。
- PBL（課題解決型学習）を全科目に展開し、学生の主体的で実践的な学びに結び付けるとともに、地域共創型インターンシップに全学生が参加することで、地域社会との接続強化につなげました。

2. 研究の充実に向けた取組

- 科研費の申請率の向上と獲得件数増加を目指し、URAを中心に申請書作成支援セミナーの開催や個別のブラッシュアップ指導などを行った結果、申請率は向上し、獲得件数は10件となりました。
- 共同研究・受託事業等については、地域DX教育研究センターなどの地域課題に対応する研究拠点を整えるとともに、地域ニーズと研究シーズのマッチングを進め、新規8件、計20件の事業を実施しました。

3. 地域貢献に関する取組

- 自治体との連携強化に関して、山口県東部地区を中心に包括連携協定を締結し、9件の受託事業等を実施しました。
- 地域住民向けの公開講座や研修、リカレント教育プログラムの実施により、地域における学びの機会の拡充やWell-beingの実現に取り組みました。
- 学生団体である「地域貢献推進委員会」が仲介して学生のボランティア活動を促進し、地域清掃や地域の祭りなどに参加しました。また、学生がスポーツサークルで指導するなど、中学校の部活動の地域移行にも貢献しました。

4. 法人経営に関する取組

- 業務のデジタル化では、勤怠管理やワークフローを本格稼働させ、給与計算業務や文書管理業務の効率化を図りました。また、会議においては原則ペーパーレスとし、SDGsへの配慮とコスト削減につなげました。
- 教員の人事評価においては、各学科の特性に対応しながらも客観的な基準に基づく制度の確立に向けて、評価指標を設定しました。また、事務職員の人事評価においては、昇給等の基準や評価方法を見直し、実際の給与等へ反映する仕組みを整えました。

Ⅱ. 貸借対照表の概要

貸借対照表

公立大学法人の貸借対照表は、年度末における財政状態を示す「財産目録」です。建物や設備、現金といった資産と、借入金などの負債、そしてそれらを除いた自己資金（純資産）を一覧で示し、法人全体の財政基盤が分かります。

2024（R6）年度 貸借対照表 ハイライト

S1号館の新営により、資産・純資産とも増加しました。

資産			負債		
土地・建物等	75.4 億円	24億円 ↑	返済の必要のない 債務 ※	11.0 億円	1.4億円 ↓
有価証券	0.3 億円	0.3億円 ↑	未払金等	3.4 億円	3.2億円 ↓
現預金等	8.5 億円	7億円 ↓	負債合計	14.4 億円	4.6億円 ↓
資産合計	84.2 億円	16.6億円 ↑	純資産		
			総資産合計	69.8 億円	21.3億円 ↑

※ 返済の必要のない債務には、長期繰延補助金等、退職給付金引当金、寄附金債務、その他の一部が含まれます。

貸借対照表

資産				単位（千円）
	2023(R5)年度	2024(R6)年度	増減	
資産の部	6,760,013	8,426,062	1,666,049	
固定資産	5,149,565	7,545,867	2,396,302	
土地	2,423,806	2,423,806	0	
建物	1,563,774	3,765,641	2,201,867	
構築物	81,433	69,293	△ 12,140	
機械・備品等	263,657	428,316	164,659	
図書	780,008	824,807	44,799	
美術品・収蔵品	7,965	18,435	10,470	
車両運搬具	4,567	477	△ 4,090	
その他	24,353	15,090	△ 9,263	
流動資産	1,610,448	880,195	△ 730,253	
現金・預金	1,534,185	804,050	△ 730,135	
有価証券	0	30,000	30,000	
未収金	75,981	45,662	△ 30,319	
その他	282	482	200	

※単位未満切り捨てのため、合計は必ずしも一致しません。

負債				単位（千円）
	2023(R5)年度	2024(R6)年度	増減	
負債の部	1,906,834	1,439,429	△ 467,405	
固定負債	319,714	518,061	198,347	
長期繰延補助金等	319,064	269,699	△ 49,365	
退職給付引当金	0	93,081	93,081	
長期リース債務	0	154,630	154,630	
その他	650	650	0	
流動負債	1,587,120	921,367	△ 665,753	
寄附金債務	894,812	705,271	△ 189,541	
未払金	649,636	106,556	△ 543,080	
その他	42,671	109,539	66,868	

純資産				単位（千円）
	2023(R5)年度	2024(R6)年度	増減	
純資産の部	4,853,179	6,986,633	2,133,454	
資本金	3,895,548	6,308,548	2,413,000	
資本剰余金	△ 275,141	△ 458,316	△ 183,175	
利益剰余金	1,232,772	1,136,401	△ 96,371	

Ⅲ. 損益計算書の概要

損益計算書

公立大学法人の損益計算書は、教育・研究活動等の運営状況を明確にするための「活動成績表」です。授業料や周南市からの運営費交付金などの収益と、教育・研究等にかかった費用を記載しており、1年間の活動状況がわかります。

公立大学法人の損益計算書は、単なる「収支報告」とは異なります。教育・研究という公共性の高い活動において、授業料や周南市からの運営費交付金といった貴重な財源がどのように使われ、どのような成果に繋がったかを示し、活動の透明性を担保するものです。企業の損益計算書が利益追求を示す一方、公立大学法人のそれは、社会への説明責任を果たし、皆さんの信頼を得て、より良い教育・研究環境のために未来へ投資する道筋を示しています。

2024（R6）年度 損益計算書 ハイライト

2024(R6)年度は、新学部設置に伴う入学者増の学年進行1年目のため、運営費交付金及び授業料等収入増により経常収益が増加しました。しかし、収益としては、臨時利益の影響で減少しております。費用は、新学部・学科開設に伴う図書購入及びS1号館の使用開始に伴う光熱水費等の影響により増加しました。



前年比13.3億円の減益！

2024（R6）年度は前年度比13.3億円の減益となり、周南公立大学の経営に懸念を抱かれるかもしれません。しかし、このうち12.3億円は、実質的な経営悪化ではなく、会計基準の改訂により、2023年度に限り計上していた臨時利益（返済不要な負債の一部）がなくなったためです。残りは退職引当金の計上によります。

損益計算書

費用

単位 (千円)

	2023(R5)年度	2024(R6)年度	増減
経常費用合計	1,997,409	2,275,503	278,094
業務費	1,589,253	2,069,195	479,943
教育経費	555,486	511,416	△ 44,070
研究経費	8,753	23,776	15,023
教育研究支援経費	4,145	23,622	19,477
受託研究費等	32,150	37,808	5,658
人件費	988,717	1,472,572	483,855
一般管理費	408,155	202,652	△ 205,503
その他		3,655	3,655
臨時損失	25,587	18,971	△ 6,616
費用合計	2,022,996	2,294,474	271,478

収益

単位 (千円)

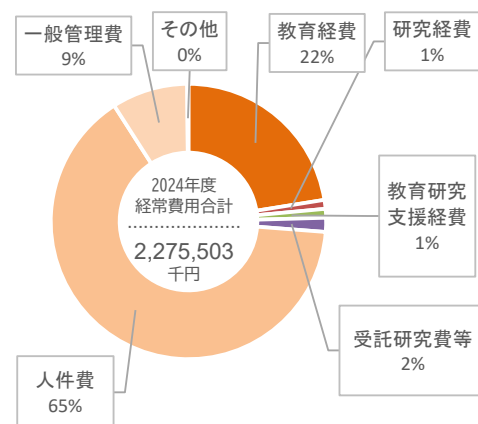
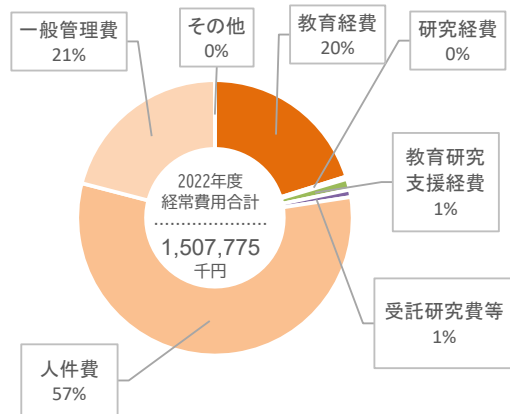
	2023(R5)年度	2024(R6)年度	増減
経常収益合計	1,835,767	2,184,643	348,876
運営費交付金収益	279,216	694,512	36,767
授業料等収益	780,680	920,429	139,749
受託研究費等収益	38,975	38,046	△ 929
補助金等収益	361,001	252,309	△ 108,692
その他収益	42,290	53,186	10,896
寄付金収益	12,689	8,432	△ 4,257
残余財産取崩額	320,914	217,726	△ 103,188
臨時利益	1,420,002	13,461	△ 1,406,541
収益合計	3,255,769	2,198,104	△ 1,057,665

※単位未満切り捨てのため、合計は必ずしも一致しません。

公立大学法人化後の経常費用の変化 (2022→2024)

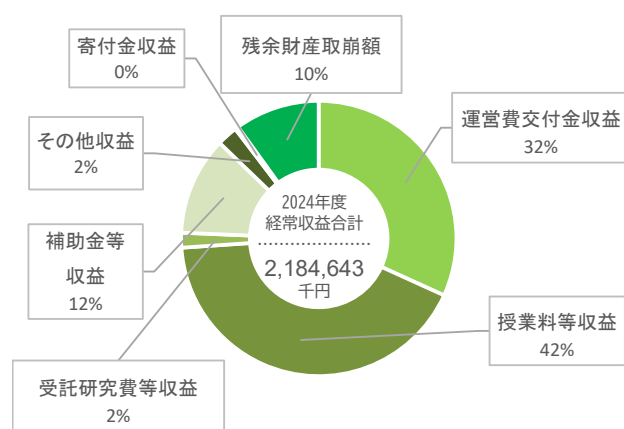
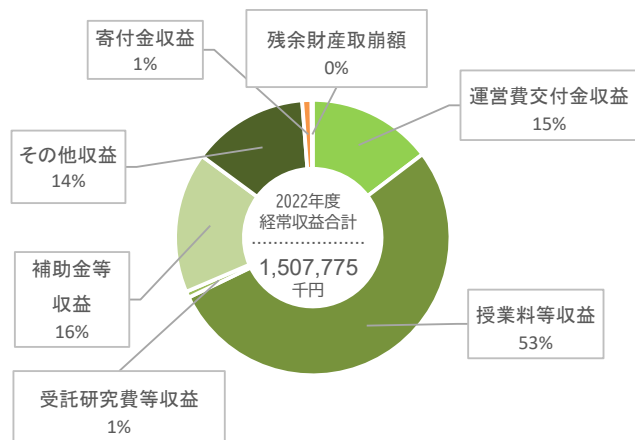
法人化1年目と、その後の比較

新学部設置に伴い、教職員数が増加したため、人件費比率が上がっています。



法人化後の経常収益の変化 (2022→2024)

新学部設置に伴う入学者増のため、運営費交付金の比率が上がっています。



IV. キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書

1年間の資金（キャッシュ）の流れ（フロー）を、活動別に表示したものです。貸借対照表や損益計算書からは読み取れない、実際の資金の流れを表しています。

2024（R6）年度 キャッシュ・フロー計算書のハイライト

資金期末残高は、資金期首残高（1,484百万円）から、830百万円減少しました。

単位（千円）

科目	2023(R5)年度	2024(R6)年度	増減
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	271,306	△ 263,662	△ 534,968
原材料、商品又はサービスの購入による支出	△ 384,348	△ 589,351	△ 205,003
人件費支出	△ 977,092	△ 1,388,192	△ 411,100
その他の業務支出	△ 178,462	△ 236,590	△ 58,128
運営費交付金収入	279,217	694,512	415,295
授業料等収入	742,707	916,231	173,524
補助金等収入	680,446	204,162	△ 476,284
寄附金収入	31,143	23,486	△ 7,657
その他の業務収入	77,695	112,080	34,385
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 63,772	△ 515,914	△ 452,142
有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	△ 13,675	△ 386,035	△ 372,360
投資その他の資産の取得による支出	△ 99	△ 30,000	△ 29,901
定期預金の預入による支出	△ 50,000	△ 100,000	△ 50,000
小計	△ 63,774	△ 516,035	△ 452,261
利息及び配当金の受取額	2	121	119
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	0	△ 50,558	△ 50,558
リース債務の返済による支出	0	△ 46,903	△ 46,903
小計	0	△ 46,903	△ 46,903
利息の支払額	0	△ 3,655	△ 3,655
IV 資金増加額（I+II+III）	207,534	△ 830,134	△ 1,037,668
V 資金期首残高	1,276,651	1,484,185	207,534
VI 資金期末残高（IV+V）	1,484,185	654,051	△ 830,134

経営シミュレーションと決算額の比較

公立大学法人化前に行った経営シミュレーションにおいては、法人化後4年目までは経常赤字が発生しますが、法人化する際に学校法人徳山教育財団から引き継いだ残余財産を活用することとしていました。

●経営シミュレーション（運営費交付金算定基礎となる単位費用を10年目まで毎年2%減少と想定）（単位：百万円）

	初年度 2022(R4)	2年目 2023(R5)	3年目 2024(R6)	4年目 2025(R7)	5年目 2026(R8)	6年目 2027(R9)
収入計 (A)	881	888	1,323	1,783	2,133	2,470
支出計 (B)	1,200	1,328	1,855	1,880	1,909	1,919
収支(A)－(B)	△ 320	△ 440	△ 532	△ 97	224	551
徳山大学からの残余財産充当額	320	440	532	97	—	—
徳山大学からの残余財産充当後の大学最終収支	0	0	0	0	224	551
徳山大学からの残余財産の残高 1,400	1,080	640	108	11	11	11

●決算額

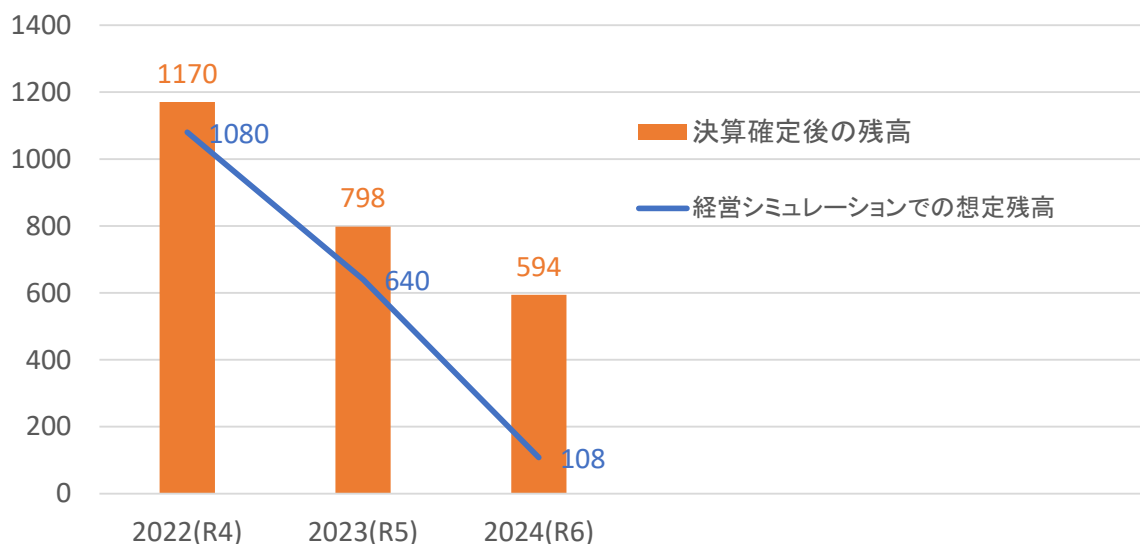
	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)
収入計 (A)	1,342	1,821	1,917
支出計 (B)	1,344	2,128	2,135
収支(A)－(B)	△ 2	△ 307	△ 218
徳山大学からの残余財産充当額	2	307	218
徳山大学からの残余財産充当後の大学最終収支	0	0	0
徳山大学からの残余財産の残高 1,185	1,170	798	594
増減要因			
取り崩し	△ 2	△ 321	△ 218
資産見返寄付金への振替え	△ 13	0	0
周南みらい基金への振替え	0	△ 51	0
前年度過取崩し分の積立	0	0	14

<収支の概況>

● 2024（令和6）年度の収支は、当初見込みの5億3,200万円の収支不足から、決算では2億1,800万円の収支不足にまで縮小しました。この主な要因は以下の通りです。

- ・ 入学者が定員の100%を超えたことで、運営費交付金や授業料等の収入が増加した。
- ・ 2%減少と見込んでいた単位費用が増加し、運営費交付金が増加した。
- ・ 人件費や光熱水費が当初の予算を下回った。

<徳山大学からの残余財産（14億円）の残高推移>



VI.財務指標

財務指標

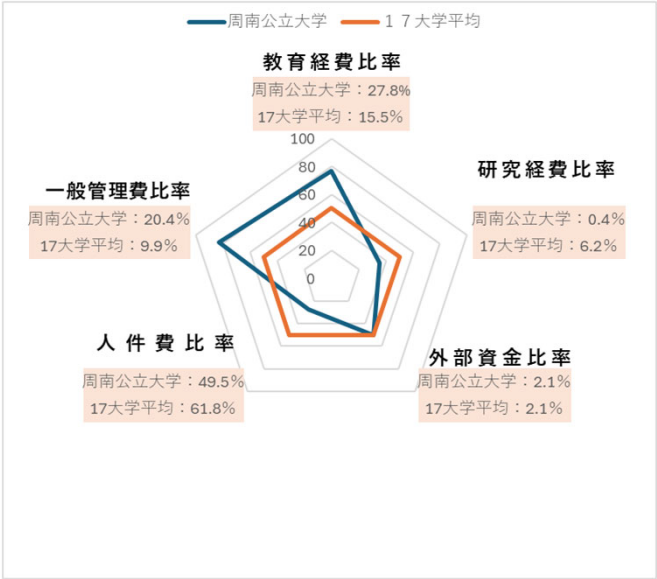
周南公立大学の経営状況を、同系同規模の17公立大学法人（2024年度は15）の平均を50とする偏差値で評価しました。

※

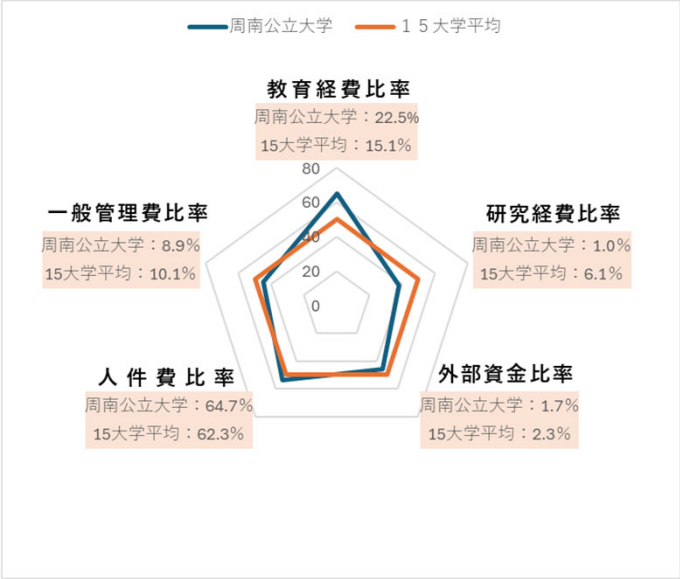
2023年度は、新学部設置に伴う備品購入や設備改修の影響で教育経費比率や一般管理費比率が高くなった一方で、研究経費比率や人件費比率が低くなったという特徴が見られます。

2024年度は、新学部設置に伴う備品購入の影響で教育経費比率や人件費比率が高くなった一方で、研究経費比率や外部資金比率が低くなったという特徴が見られます。

財務指標（2023（R5）年度）



財務指標（2024（R6）年度）



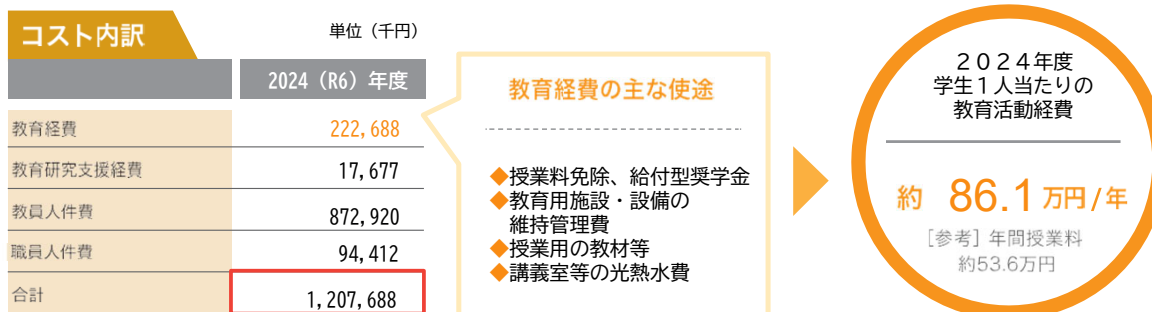
※以下の条件に合致する公立大学法人を同系同規模の公立大学法人とした。
①附属病院がないこと、②単科大学でないこと、③看護系の学部、学科があること、④学生数が1,000～2,000人前後であること

財務指標		指標の内容		2023年度	2024年度
活動性・収益性	教育経費比率	教育経費／経常費用	経常費用のうち教育経費の占める割合はどうか。大学本来の活動のうち、教育活動に充当される直接経費の割合はどうか。	27.8%	22.5%
	研究経費比率	研究経費／経常費用	経常費用のうち研究経費の占める割合はどうか。大学本来の活動のうち、研究活動に充当される直接経費の割合はどうか。	0.4%	1.0%
発展性・成長性	外部資金比率	（受託研究収益＋共同研究収益＋受託事業収益）／経常収益	経常収益のうち外部から獲得した資金（寄附金を除く）の占める割合はどうか。	2.1%	1.7%
効率性	人件費比率	人件費／経常費用	経常費用のうち人件費の占める割合はどうか。人件費を抑え、学生向けの教育サービスの質的向上や必要な研究経費が十分確保されているか。	49.5%	64.7%
	一般管理費比率	一般管理費／経常費用	経常費用と一般管理費との割合はどうか。管理経費を抑え、効率よく法人経営されているか。	20.4%	8.9%

ステークホルダーの皆様からご支援いただく様々な資金のうち、「授業料」をピックアップし、その用途等をご紹介します。

学生1人当たりの教育活動に要する経費

学生の年間授業料は約53.6万円ですが、教員人件費、職員人件費（学務課）、図書館費、教育に必要な物件費などを合わせると、学生1人当たりの教育活動経費は約86.1万円となります。授業料で賄いきれない差額分は、主に運営費交付金や寄附金、補助金などで補填しています。



教育活動に要する経費

上記に示した「教育経費の主な使途」のほか、図書館費、教員人件費、学生に関わる職員の人件費になります。
補助金等により整備したもの、入試や公開講座等在校生と直接関わりのないものは入っておりません。

周南公立大学の財務情報についてさらに詳しくお知りになりたい方は大学ホームページをご覧ください

財務諸表、事業報告書等を大学ホームページで公表しています。



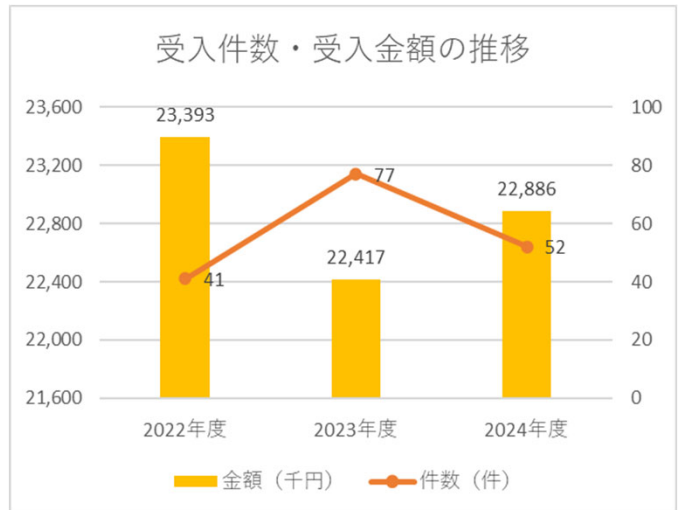
新校舎(S1号館)

「周南公立大学基金(周南みらい基金)」は、学生の修学支援や特色ある教育・研究活動、多様な地域連携活動などを通じて、地域の活性化を図ることを目的として、広く社会から寄附金を受け入れるために周南公立大学が2022年度に創設したものです。

寄附受入額等(収入)

(単位：千円)

			2022(R4)年度	2023(R5)年度	2024(R6)年度
寄附金	個人	件数	14	51	25
		金額	843	5,208	1,709
	法人	件数	27	26	27
		金額	22,550	17,209	21,177
	小計	件数	41	77	52
		金額	23,393	22,417	22,886
公立化前の寄附の繰入			0	50,618	0
前年度からの繰越金			0	23,393	91,123
合計			23,393	96,428	114,009



基金取崩額等(支出)

(単位：千円)

基金の使途	2024年度の主な事業	2023(R5)年度	2024(R6)年度
① 学生の修学支援事業	生活支援奨学金の支給(5名) 学業成績優秀者奨学金の支給(9名)	443	1,230
② 教育・研究活動支援事業		1,559	0
③ 地域連携・地域貢献活動支援事業	8号館トレーニング施設の運営に対する支援	873	409
④ 国際交流活動支援事業	海外の連携協定大学の学生との交流等	719	1,139
⑤ その他、大学全体への支援事業	基金制度紹介パンフレットの印刷 寄附者の銘板作成	1,711	126
⑥ 特定基金(特定の学生活動や団体、事業等を指定した寄附)	学生の部活動への支援等	0	1,567
合計		5,305	4,471

2024年度末基金残高：1億953万8千円

ご寄附のお願い

学生が地域からの温かい支援を実感しながら充実したキャンパスライフが送れるよう、また大学を生かしたまちづくりが実現できるよう、今後も様々な基金事業を展開してまいります。
引き続き、皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。





周南公立大学

SHUNAN UNIVERSITY

〒745-8566 山口県周南市学園台843-4-2
公立大学法人周南公立大学 総務部経理課
【TEL】 0834-28-0411 (代表)
【FAX】 0834-28-8790 (代表)
【発行】 2025年10月